



# 田村市立都路中学校

## 学校だより 第14号

平成29年12月 1日 (金)  
発行責任者：校長 田中 淳一  
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：・夢や志をもつ生徒 ・自ら学び考える生徒 ・心身ともに健康な生徒  
めざす学校像：・夢や志を育む学校 ・学び合い、高め合う学校 ・信頼され、愛される学校

### 全校学習会を開きました

11月20日(月)の定期テストに向けて、放課後を活用し、全校体制で学習会を実施しました。この学習会は、基礎・基本の習得と、主体的に学習に取り組む態度を育むことが目的です。各自が、希望した教科の先生がいる教室で、配付されたプリントを勉強し、分からない点を訊いたり、学習のアドバイスを受けたりするという形で実施しました。今年度からの新たな取組みで、生徒たちも新鮮な気持ちで、集中して学習していました。普段よりも積極的に質問したり、上級生が下級生に教えたりする姿も見られました。生徒の感想は、以下のとおりです。

- 先輩に分からない問題を教えてもらい、勉強の仕方について考えることができました。(1年)
- 苦手な理科の勉強をしました。プリントの丸つけをし、先生に問題の解き方を教えてもらいました。また、1年生と一緒に、1年生の時に学習した内容を勉強しました。忘れていた問題を復習できて良かったと思います。(2年)
- 1年の歴史の内容を復習しました。不得意分野だったので、先生に丁寧に教えてもらうことができ良かったです。学習方法についてのアドバイスを生かして、定期テストや受験に向けて頑張っていきたいです。(3年)

このように、全校学習会は生徒から大変好評でした。今後も実施していきたいと考えています。



0000 JP - 16291216

### <12月(前半)の主な行事予定>

- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| 1日(金) 進路対策テスト(3年)           | 9日(土) 市PTA 連合会講演会 |
| 2日(土) 数学検定                  | 都路イルミネーション点灯式     |
| 4日(月) 全校朝会                  | 11日(月) スプリングコンテスト |
| 5日(火) 薬物乱用防止教室              | 15日(金) ものづくり体験教室  |
| 8日(金) 授業参観、学年懇談会<br>PTA 役員会 |                   |



## 地域学校保健委員会を開きました

11月8日（水）、都路小・中学校の第2回地域学校保健委員会を開催しました。今回は講演として、講師に国立病院機構仙台医療センター小児科医の田澤雄作先生をお招きしました。講演では、幼い時からの過剰な映像メディア（テレビ、ビデオ、ゲーム、スマホ等）との接触は、コミュニケーション障がいやパーソナリティ障がい、慢性疲労などを引き起こし、社会力不足のため、不登校や引きこもり、あるいはニートの問題や反社会的事件につながるおそれがあることが、医学的な知見から分かりやすく語られました。生徒の感想は、以下のとおりです。

- ゲームやテレビ漬けをやめて2週間経つと、顔の表情が変わったり、登校できるようになったりと、メディアの影響はすごいと感じました。私もメディア依存にならないように、時間を決めて生活したいと思います。（2年女子）
- 印象に残っているのは、「私もお母さんのスマホになりたい」という子どもの言葉です。母親がスマホに夢中になってしまい、子どもがこんな気持ちをもっていることに驚きました。メディアとの付き合い方を考えて生活したいと思います。（3年男子）
- 私はあまりゲームやスマホは使わないのですが、田澤先生の話聞いて、自分だけではなく、周りの人にも注意していきたいと思いました。（1年女子）
- 2～3時間勉強しても、その後ゲームをしてしまうと内容が身に付かないという話は、私にも当てはまることでした。生活をする上での時間配分、就寝時間などを全体的に見直して、メディア中毒にならないように心がけていきたいと思います。（1年女子）



## 都路小・中駅伝大会を行いました

11月17日（金）、第1回都路小・中駅伝大会を開催しました。昨年度までは小学校単独で実施していた駅伝大会に、中学校が加わって合同開催の運びとなりました。合同開催の目的は、都路小・中学校の児童生徒の結びつきを深めることにあります。人は一緒に汗を流したり、一緒に食事をしたりすることで、つながりを深めるものです。合同駅伝大会を通じて、都路の子どもたちが互いの結びつきを深めるとともに、故郷への愛着を育ててほしいと願っています。もう一つの目的は、合同開催することで、都路町を元気にすることです。今回の大会でも、沿道から多くの保護者・地域の皆さんが声援を送ってくださいました。子どもたちも励まされましたが、応援して下さった皆さんも、ひたむきに頑張る子どもたちの姿から元気もらったのではないのでしょうか。



## CDの寄贈がありました

新日本フィル、札幌交響楽団の首席チェロ奏者などとしてご活躍された、土田英順（つちだ えいじゅん）様から、ご自身の演奏を収めたCDを全校生に寄贈していただきました。土田様は、大船渡で津波の犠牲になった方が所有していたチェロを蘇らせ、そのチェロと共に各地でチャリティ・コンサートを開いています。ぜひご家庭で、その音色に耳を傾けていただきたいと思います。

